

サプライチェーンマネジメント

より詳しい
情報は、こちらを
ご覧ください。▶



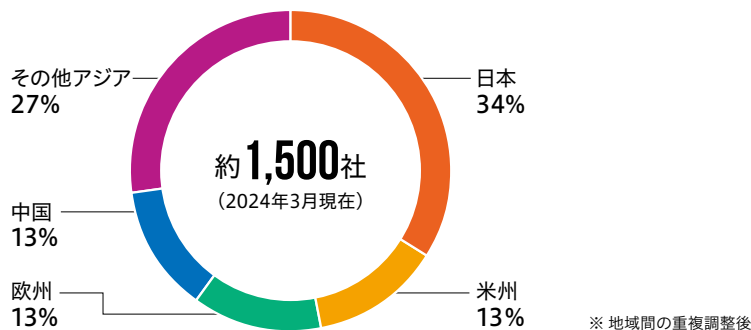
基本的な考え方

NSKの事業は多くのサプライヤーに支えられて成り立っています。NSKは、サプライヤーの皆様を「NSKにとって不可欠なビジネスパートナー」と考え、信頼関係を構築しながら、相互に発展していくことを目指しています。公正・公平で、社会や環境への影響に配慮した調達活動を行うことを基本に、持続可能な社会の実現に向けてサプライチェーン全体で取り組んでいます。

サプライチェーンの主な内訳

NSKグループは、グローバルで約1,500社（地域間の重複調整後）の直接材サプライヤーの皆様との取引があります。

NSKグループ地域別サプライヤー比率（サプライヤー数）



サプライチェーンのリスク管理

NSKグループは、調達する部品や原材料および調達先の取り組み状況がQCD（品質・コスト・納期遵守）に関するNSKの基準を満たせることを基本に、サプライヤーの皆様「NSKサプライヤーCSRガイドライン」や「NSKグループ グリーン調達基準書」を理解し、遵守すべき事項に賛同・同意をいただけることを確認しています。また、取引基本契約書にESG（E:環境、S:社会、G:ガバナンス）に関する条項を盛り込んでリスク管理を強化しています。

サプライヤーの皆様とのNSKの価値創造の共有

NSKグループでは、毎年、調達方針説明会を開催し、主要なサプライヤーの皆様へ人権・労働や気候変動対策などの社会的要請の高まりやお客様から求められている事項を伝え、労働安全やCO₂排出量の削減などNSKが取り組んでいただきたい内容を説明し、サプライチェーン全体で歩調を合わせた活動の実践を要請しています。2024年5月に開催した調達方針説明会には、87社に参加いただきました。

またFY2023には、NSK人権方針や取り組みに関する動画を一部のサプライヤーに配信し、意見・感想などフィードバックをいただきました。



調達方針説明会

紛争鉱物規制への対応

NSKは、コンゴ民主共和国とその周辺国において、人権侵害を行う反社会的武装勢力への資金や利益供与につながる紛争鉱物^{*1}を製品に使用しないことを方針としています。また、調査により使用が懸念される場合は、該当するサプライヤーに取り組みの重要性を伝え、部品や原材料等の使用回避に向けた施策を行うこととしています。自動車の電動パワーステアリングに使われる電子部品など、一部のNSK製品に米国紛争鉱物規制^{*2}が調査対象とするスズ、タンタルなどを使用しています。そのため、NSKは該当する部品や原材料のサプライヤーの皆様と共同で、毎年、サプライチェーンをさかのぼって原産国や精錬所を調べるなど、世界で紛争鉱物に関する取り組みを主導する団体であるResponsible Minerals Initiative (RMI) による統一フォーマットのCMRTおよびEMRTを利用した調査を実施し、鉱物調達の安全性を調査しています。なお、調査の結果、武装勢力の資金源となるような紛争鉱物の使用は確認されていません。

※1 米国金融規制改革法にて「タンタル、スズ、金、タングステン」を紛争鉱物と定義

※2 米国上場する企業に、毎年、紛争鉱物の使用状況を調べ報告や情報開示を義務付ける規制。NSKは、本規制が対象とする米国上場企業ではないが、調査を実施し顧客への情報提供等を行っている。